

黒島牛まつり実行委員会

交流
部門

小さな島の牛まつりで育む大きな和でふるさとづくり (平成25年度認定)



黒島は石垣島から18.5kmの距離にある、ハートの形に似た島である。

人口の約10倍の牛の島と言われるほど畜産が盛んで、事業も畜産基地建設事業が主体となっている。

「黒島牛まつり」は平成3年のハートアイランドフェスティバルから始まる島民総出のまつりで、準備から多くの島民が係わっており、女性達は野菜の下ごしらえ、青年会はまつりで振舞う牛汁の準備、老人会は野菜の調達など、世代を超えた協力体制となっている。このことが地域ふるさとづくりの絆にも繋がっている。

当日は、島外から3500人の来場者が訪れ、港から会場まで長蛇の列ができるほどの賑わいとなっている。会場の案内には、乾燥草ロールが利用され、また、地元芸能や島民による牛肉コロッケなど地域の創意工夫を活かした企画で会場を盛り上げている。一番人気の「牛一頭が当たる宝くじ抽選会」では会場全員が参加し、最大の交流の場となっている。

これまでに、21回開催され、毎年イベントの参加者も徐々に増える傾向にあり、地元観光業者からも大きな期待が寄せられており、地元の一大イベントとして定着し今後も継続した地域活動の展望が期待されている。このことから、島で守るむら祭りで、良好なアメニティを提供し地域内外の交流があると認められる団体として交流部門に認定された。



島民による「黒島牛まつり」の準備



出店の様子



牛一頭が当たる宝くじ抽選会



まつりの後